

公益財団法人 三井住友海上文化財団

令和5年度「文化の国際交流活動に対する助成」助成先団体〔10団体〕

【令和5年度選考分】5団体 助成金合計250万円

令和5年4月現在

| 団体名 | 所在地 | 団体概要・活動実績 | 助成対象事業 | | | | 助成金 |
|-------------------|------|---|--------|--------|------------------------|---|------|
| | | | 交流相手 | 交流人数 | 日程 | 内容・目的（■印は申請書記載の事業名） | |
| 菅波伝統文化継承会 | 福島県 | 福島県いわき市市の菅波地区はかつては磐城平藩菅波村であり、古代からの文化・伝統芸能を色濃く残してきた。この伝統文化を保存継承するために、菅波地区全戸加入による伝統文化継承会を設立し、地区に残る「じゃんがら念仏踊り」「獅子舞」などの継承に努めてきた。ベトナムとは過去、国交樹立40周年記念事業でも、伝統芸能の公演披露をして、ベトナムの若者による「よさこいチーム」と共演交流するなど非常に好評を博している。 | ベトナム | 派遣 18名 | 令和5年11月22日～11月26日（5日間） | ■日越国交樹立50周年記念事業 ベトナムでジャンガラを（仮） 日越国交樹立50周年を迎え、福島県の浜通りに伝承されている「じゃんがら念仏踊り」をベトナムのホーチミン市で公演・披露する。「じゃんがら念仏踊り」は仏教行事と強く関連する民俗芸能であり、ベトナムの仏教は日本の仏教と同じく大乘仏教であるため、芸能の趣旨がよく理解され、これまでの公演も多大な好評を博してきた。 | 50万円 |
| チームITO | 東京都 | 江戸糸あやつり人形・結城座に20年以上在籍し、現在は代表を務める人形遣い、稲津（塩川）京子を中心に江戸糸あやつり人形の技術をより多くの人に知ってもらいたいと活動している。平成26年にマレーシアの影絵芝居とコラボレーションを行って以来、マレーシアを中心とする海外のグループとも交流を行っている。 | マレーシア | 派遣 4名 | 令和5年7月22日～7月31日（10日間） | ■江戸糸あやつり人形とポテヒによる「西遊記」上演 マレーシア、ペナン州で毎年夏に開催される最大級のアート・フェスティバル「ジョージタウン・フェスティバル」において、「江戸糸あやつり人形」と「ポテヒ」のコラボレーションで、「西遊記」を上演する。お互いの技術を学びあい、発展させるとともに、多くのマレーシア人知ってもらう機会とする。 | 50万円 |
| 三田国際ジュニア合唱祭実行委員会 | 兵庫県 | 三田少年少女合唱団（兵庫県）が活動母体となり、地域合唱団スタッフ及び家族が集まる委員会。海外の一流児童合唱団を年に1度、兵庫県三田市に招聘。三田市内及び近郊の児童合唱との交流演奏会「三田国際ジュニア合唱祭」を主催し、ホームステイや各種イベントへの招待、市内観光などの国際交流事業を実施してきた。 | エストニア | 招聘 45名 | 令和5年8月5日～8月7日（3日間） | ■三田国際ジュニア合唱祭 エストニアから「エストニアラジオ放送少女合唱団」を兵庫県三田市に迎え、「ウェルカムパーティ」「三田祭」「平和を考える市民の集い」「三田市市庁舎コンサート」「三田国際ジュニア合唱祭」を通じて、地元子ども達との国際交流を行う。交流事業を通して、参加した子ども達の国を超えた文化理解を深め、国際的な人材育成の一助とする。 | 50万円 |
| 熊本ユースシンフォニーオーケストラ | 熊本県 | 「子どもの頃から本物の音楽に触れ、オーケストラ活動を通してより良い社会人を育てること」を目的として、昭和39年に創立。以来、毎週土曜日夜の練習を最も重要な活動の柱とし、年1回定期演奏会を行っている。団員は県内の小学生から29才まで約50名が在籍し音楽をより深く感じ、より高い水準の演奏を目指すだけでなく、他に対して責任を果たすことや協調性等、人間力を養う恰好の場となっている。 | タイ | 招聘 18名 | 令和5年10月20日～10月24日（5日間） | ■バンコク・イマヌエルオーケストラ×KYOジョイントコンサート（仮） 2018年より、バンコクのスラム街にあるイマヌエルオーケストラに対する、サロン・オ・デュ・タン財団によるタイの子供たちの音楽活動への支援がスタートした。サロン・オ・デュ・タン主宰加古川氏が熊本県の出身であることから今回の事業が実現した。イマヌエルオーケストラの中でも特に練習に励んだ優秀な子供たちが日本公演を行い、音楽を通じた国際交流を行う。 | 50万円 |
| 混声合唱アンテポロー | 鹿児島県 | 東日本大震災の復興記念コンサート（チャリティーコンサート）をきっかけに結成された。以後、社会に貢献できるボランティア団体を目指して活動し、小学校への慰問や演奏会を開催している。今後も、賛同団体が増えることを願い、更なる社会貢献活動を継続している。 | 韓国 | 派遣 15名 | 令和5年10月20日～10月22日（3日間） | ■創団10周年記念／国際親善交流合唱コンサート 創団10周年にあたり、韓国のソウルにあるプロテスタント教会の附属合唱団と「音楽親善交流」を図るコンサートを行う。コロナ禍で芸術に触れる機会が減少している今、芸術・音楽の素晴らしさを国を越えて共有し、生きるエネルギーを育みたい。また、音楽交流を学びの場として、合唱の芸術向上を図るとともに、歌に表現された両国の文化を体感してお互いの文化研鑽の場とする。 | 50万円 |

【令和3年度延期分】1団体 助成金合計50万円

| 団体名 | 所在地 | 団体概要・活動実績 | 助成対象事業 | | | | 助成金 |
|------------------|-----|--|-----------------|--------|----|---|------|
| | | | 交流相手 | 交流人数 | 日程 | 内容・目的（■印は申請書記載の事業名） | |
| 埼玉県立不動岡高等学校 吹奏楽部 | 埼玉県 | 2017（平成29）年、2019（令和元）年に埼玉県代表として、西関東吹奏楽コンクールへ出場。2017（平成29）年に第1回海外研修旅行を実施し、シンガポールにて交流演奏会等を実施。以降、2019（令和元）年6月にマレーシア、11月にシンガポールより受け入れ、2020（令和2）年3月に第2回海外研修旅行を実施し、マレーシア、シンガポールの学校と交流を重ねている。 | マレーシア シンガポール | 派遣 80名 | 中止 | ■第3回海外研修旅行 マレーシア、シンガポールの公立校へ訪問し、授業参加や合同練習を経て交流演奏会を開催する。マレーシアではホームステイも予定。 | 50万円 |

【令和2年度延期分】4団体 助成金合計200万円

| 団体名 | 所在地 | 団体概要・活動実績 | 助成対象事業 | | | | 助成金 |
|-----------------|-----|--|--------|--------|----------------------|--|------|
| | | | 交流相手 | 交流人数 | 日程 | 内容・目的（■印は申請書記載の事業名） | |
| 秋田県立由利高等学校（民謡部） | 秋田県 | 秋田県を代表する伝統芸能団体。約50年の歴史があり、平成29、30年全国総合文化祭郷土芸能部門優良賞等、各大会で表彰を受けている。レパトリーは地元秋田県の民謡だけでなく北海道から沖縄まで多岐に渡り、例年7月の定期演奏会には1,000名以上の県内外の観客が来場する等、人気を呼んでいる。 | 台湾 | 派遣 16名 | 令和5年夏or冬 | ■台湾高雄市立文山高級中学との文化交流 民謡部生徒と引率教員を現在交流活動を行っている台湾高雄市立文山高級中学に派遣し、伝統芸能を通じた交流活動を行う。さらに、近隣の小中学校や関係機関においても民謡の歌や舞を披露し、日本および由利本荘市の民謡文化を紹介する。 | 50万円 |
| 半田ジュニアプラスバンド | 愛知県 | プラスバンドの活動を通して、地域文化の向上と青少年の健全育成を目的に、半田市の社会教育・生涯学習の一環として設立。定期演奏会をはじめ、地域の文化活動に積極的に参加。半田市の姉妹都市であるオーストラリア・ポートマッコリー市の青少年バンドとは平成10年以来、両国で計12回のフレンドシップコンサートを開催している。 | ブータン | 派遣 30名 | 延期 〔令和6年8月予定〕 | ■半田ジュニアプラスバンド ブータン王国演奏派遣事業 平成17年の愛・地球博の際に半田市とフレンドシップ相手国となったブータン王国において、野外広場や学校で演奏会等を行う。西洋音楽（特にクラシック音楽や吹奏楽）に馴染みの薄いブータンの青少年に半田ジュニアプラスバンドの子どもたちの演奏を聴いてもらうことにより、文化交流を通じて相互理解を図る。 | 50万円 |
| 唐津人形浄瑠璃保存会 | 佐賀県 | 唐津に九州でただ一人の浄瑠璃指導者である竹本鳴子太夫が在住し、県内外での公演活動や伝統芸能の伝承として、子どもから大人まで指導している。唐津やその周辺地域における伝承を目的に、竹本鳴子門下生有志で「唐津人形浄瑠璃保存会」を設立。市内小学校で浄瑠璃指導や定期公演をはじめ、平成29年、30年はニューヨークでも公演を行っている。 | アメリカ | 派遣 13名 | 令和5年6月11日～6月15日（5日間） | ■唐津人形浄瑠璃保存会 ニューヨーク公演 唐津人形浄瑠璃保存会による三味線演奏、舞踊、歌舞伎、人形浄瑠璃を披露する。言葉の壁を越え、人形浄瑠璃を通じて、日本の伝統芸能を見て理解してもらおう。公演後のレセプションでは来場者とも交流を深めて、海外との友好関係を築く。 | 50万円 |
| 長崎交響楽団 | 長崎県 | 昭和45年長崎港開港400年を記念して地域音楽文化の向上と青少年の情操教育に寄与することを目的として誕生。年2回の定期演奏会の他、離島・遠隔地巡回演奏等も手がける。平成7年に米国の姉妹都市セントポール市へ訪問演奏を行い翌平成8年セントポール市民交響楽団と日米初の姉妹オーケストラ提携を結んだ。 | アメリカ | 招聘 50名 | 延期 〔令和6年or7年予定〕 | ■長崎交響楽団 50周年記念「もってこい」コンサート2020 長崎交響楽団の姉妹オーケストラであるセントポール市民交響楽団を招聘し、地域交流型演奏会に参加してもらい、音楽演奏を通じた国際交流を行う。滞在期間中は学校訪問による文化交流、ホームステイによる市民交流も行う。また同時期に開催されるお祭り「長崎くんち」にも見学・参加する。 | 50万円 |